

子育て世代・働くひとの視点で北本を変える！
安心をすべての人に届けたい

きたもと

well-being 通信



さくらい すぐる
桜井 卓



公式ホームページ
<http://sakuraisuguru.jp/>



子供公園・総合公園をもっと便利で快適に！ Park-PFI で親にも子どもにも市の財政にも優しく

今回のポイント

- ◎人気の公園にカフェレストランを設置して
 もっと便利で快適にしたい！
- ◎都市公園法改正で導入された Park-PFI の
 メリットとは
- ◎プレイリーダーを導入して子どもの主体性
 を育みながら大人もリフレッシュ

北本市には緑あふれる広々とした公園がたくさんあります。中でも子供公園と総合公園は、休日ともなると多くの人で賑わっています。でも、賑わっているからこそ残念に思う部分もあります。これらの公園をもっと快適で、楽しい場所にするにはどうしたらよいでしょうか？

人気の高い公園をもっと便利に カフェレストランなど収益施設の新設を

子供公園は石戸蒲ザクラの西側にある広さ 2 万 8 千㎡の公園です。園内は三段になっていて下の段には遊具広場や水遊びもできるせせらぎ、真ん中の段には児童館、売店、ステージ、上の段には子どもたちに大人気のふわふわドームや動物小屋があります。数年前にせせらぎができ、駐車場も広がったことで、さらに楽しく快適になったと思います。



一方で残念な点もあります。まず児童館です。ここには図書室や遊技室がありますが、図書室は蔵書も少なく、狭くて暗い印象です。遊技室はそれなりに利用者もいますが、他に屋内で遊べるスペースがないために来ているだけのようには思います。同じ真ん中の段の北側にあるステージや土俵もほとんど利用されることはありません。売店も子供公園の規模からすると小さく感じます。

例えばこの児童館を撤去またはリフォームして、図書室や室内遊びができるスペースと併設する形で新たにカフェレストランを設置したらどうでしょうか？今まで以上に快適な公園になると思いませんか？



(出典) 南池袋公園ホームページ

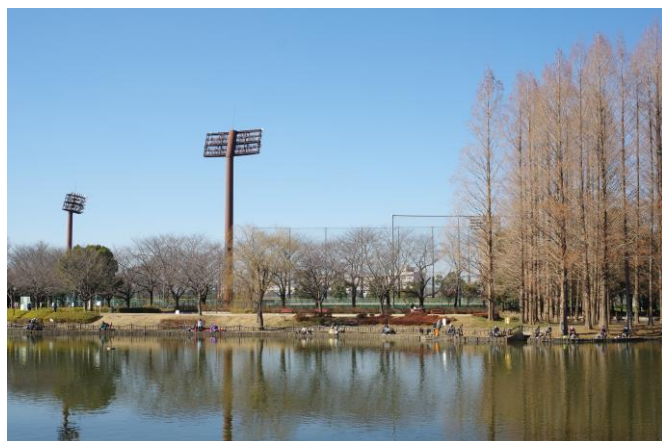
2017年に都市公園法が改正され 収益施設が設置しやすくなりました

実は、2017年に都市公園法が改正され、新しく公募設置管理制度【Park-PFI】ができました。これは、民間事業者が公園内に収益施設を造りやすくするための制度です。民間事業者が園路や広場等の特定公園施設を一体的に整備することを条件に、設置管理許可の延長(10年→

20年)や建ぺい率の緩和(2%→12%)が特例として認められることとなりました。

今までよりも大きな施設を長期間設置できることになったことで民間事業者が収益を上げやすくなりました。行政は、民間事業者に収益施設で得た収益を活用して公園全体の整備や維持管理を行わせることで、維持管理経費を削減できます。つまり Park-PFI は行政コストを抑えつつ、公園の魅力アップを図る事業と言えます。

大きな公園ほど大型の収益施設を造りやすくなりますから、子供公園と同様、広くて利用者の多い総合公園(下の写真)も Park-PFI の導入に適した公園と言えます。



子どもたちはプレイリーダーと遊び 大人はカフェでのんびりと過ごすことも

さて、休日に子どもと公園に行っても、大人が付きっきりで遊ばせるのでは、大人の休息にはなりません。そこで、公園にプレイリーダーを配置したらどうでしょうか？

プレイリーダーとは、子どもたちがいきいきと遊べるように、環境を作ったり、遊びを引き出したりする人です。決まった遊びを子どもと一緒にするというよりも、好奇心をくすぐって主体的に遊べるように誘導するという方が正しいかもしれません。横浜市や世田谷区では NPO が行政の委託や支援を受けてプレイリーダーのいるプレイパークを運営しています。

子どもたちはプレイリーダーの元で遊ぶことで主体性を育み、ママやパパはカフェで東の間の休息を楽しみながらリフレッシュ。検討する価値のあるプロジェクトだと思いますがいかがでしょうか？

カフェ設置に向けてもう動き出している!? 北本市がポータルサイトで情報収集

今回レポートを書くに当たって Park-PFI について調べていたところ「Park-PFI 推進支援ネットワーク」というポータルサイトで北本市が北本総合公園や児童館へのカフェ又はレストランの出店の意向について、情報収集を行っていることが分かりました。一般の個人ではログインできないため詳細を知ることはできませんが、すでに北本市も Park-PFI の導入を検討し始めているのではないかと思います。



(出典) Park-PFI 推進支援ネットワークホームページ

国土交通省が策定した Park-PFI 活用ガイドラインによれば、導入に当たってノウハウを有する民間事業者へのサウンディング(意見収集)が重要とされていますが、事業者よりも利用者の意向をしっかりと聴き取って、事業計画に反映させることの方が重要ではないかと思います。

近隣市の公園を見てもどこも似たような売店ばかりで、おしゃれなカフェレストランがあるような公園は見当たりません。魅力ある公園は市外からも人を呼ぶことができるでしょう。子育てしやすいまちとして、北本市の魅力アップにもつながるのではないかと期待しています。

登録
お願
いし
ます!

LINE@アカウント

@sakuraisuguru

発信頻度:週1回程度

※登録しただけでは、私の方では誰が登録したかわかりませんので、安心して登録いただけます。

Twitter アカウント

@sakuraikitamoto

発信頻度:趣くまに

LINE@



発行者 桜井 卓(さくらい すぐる)

住 所 北本市高尾1丁目 Tel.090-9389-3572

E-Mail sakuraisuguru.kitamoto@gmail.com

■プロフィール

1973年生まれ(46歳)。早稲田大学教育学部卒業。1995年埼玉県庁入庁。教育局財務課、財政課、資源循環推進課、税務課、春日部県税事務所など24年間勤務。家族(妻と娘3人)。